

報 告

平成 28 年度 日本医学図書館協会近畿地区会、
日本薬学図書館協議会近畿・中四国・九州地区協議会、
近畿病院図書室協議会 3 団体共催シンポジウム

研修部

日 時：2016 年 10 月 7 日(金) 13:00~16:30
場 所：大阪医科大学歴史資料館 3 階講義室
テーマ：国内 e-book について —— プロダクト
レビューと展望 ——

プログラム：

1. 国内電子書籍の最新動向
丸善雄松堂株式会社 大熊 高明氏
2. 電子書籍の配信プラットフォームとしての
メディカルオンライン
株式会社メテオ 深見 俊英氏
3. 医学書院 電子商品の現状と展望
株式会社医学書院 上原 達史氏

参加者数：7 名（当協議会会員のみ）

日本医学図書館協会近畿地区会、日本薬学図書館協議会近畿・中四国・九州地区協議会と近畿病院図書室協議会 3 団体共催シンポジウム（三図協シンポジウム）は 2016 年 10 月 7 日に大阪医科大学歴史資料館 3 階講義室で開催された。テーマにもとづき、丸善雄松堂株式会社、株式会社メテオ、株式会社医学書院の 3 社が発表を行った。

丸善雄松堂株式会社 大熊氏の「国内電子書籍の最新動向」は、文部科学省のデータから国内の大学図書館における電子媒体の導入加速に関する紹介があった。紙媒体の書籍・雑誌は減少気味で、電子ジャーナル（特に和雑誌）と電子書籍が増加傾向にあった。電子書籍はデータベースにカウントされる図書館もあるが、電子書籍製品の前年度比増加率が電子ジャーナルよ

りも大きいことを知った。また紙媒体で絶版になった図書が電子化されていることを知り、電子図書の新しい一面を知ることができた。

株式会社メテオ 深水氏の「電子書籍の配信プラットフォームとしてのメディカルオンライン」では「メディカルオンライン」（雑誌通常号）と「メディカルオンラインイーブックスライブラリー」（増刊号）で相互リンクを貼り、提供元の意向と利用者の利便性を解決する工夫が紹介された。2017 年に提供が始まる日本臨床社「日本臨床別冊 領域別症候群シリーズ」（旧シリーズ）や日本臨床の増刊号は、配信遅延の短縮に尽力されたことなどを知った。

株式会社医学書院 上原氏の「電子商品の現状と展望」では、「今日の診療」「Medical Finder」をはじめ、病院図書館でも聞き覚えのある製品が紹介された。丸善雄松堂株式会社の発表で電子書籍はデータベースにカウントされる図書館があると知ったが、販売側でもフレキシブルな対応をしていることを知った。

各社の発表後に設けられた質疑応答の時間には、数人からの質問があった。印象に残ったのは福井大学と丸善雄松堂株式会社が産学連携した事例だった。これにより、画像診断を教える際に異常画像と比較できる正常画像を手軽に扱えるようになったようだ。ほかには館内の書架に電子ブックの QR コードを貼付する事例が紹介されていた。

各社からは広報の支援、周知に関して図書館員の介入を求める声や、紙媒体の時からすでに

図書よりも雑誌の利用が絶対的に多いため比較すべきではないが、電子書籍になると利用量で見られることに違和感があるという声が出ていた。

電子ブックは病院図書館にはまだ遠い存在と

感じていたが、図書館の要望を受け各企業が努力されている。知識を蓄積できたよい機会だった。

(文責：寺澤裕子／関西労災病院 図書室)